



平成26年度亀山市当初予算案について

本市は、平成27年1月11日に市制施行10周年を迎え、新たな一步を踏み出します。

平成26年度一般会計予算の歳入歳出予算総額は、206億3,980万円で、平成25年度当初予算額に比べ、3億530万円、率にして1.5%の減となりました。

歳入については、市税において、個人、法人ともに増収となりますものの、固定資産税のうち償却資産の減収が見込まれることから、前年度当初予算より2.0%減の106億5,260万円とし、地方交付税においては、市税の減少などにより、2億8,600万円増の13億1,600万円を計上しました。

また、歳出については、平成26年度に取り組む主な事業として、まちの魅力や価値を高めるため、かめやま文化年事業として、「かめやま文化年2014」に取り組むほか、まちの防災力を強化するため、市域の消防力の適切な配置を進める北東分署建設事業を行い、また、市民の健康を支えるため、引き続き、三重大学地域医療学講座支援事業を実施し、亀山市地域医療再構築プランにより、地域医療の体制強化に努めてまいります。

よって、平成26年度の亀山市当初予算案は、第1次総合計画の実現に向けて後期基本計画を着実に推進するとともに、限られた財源を有効かつ適切に活用し、歳入に見合った歳出の実現に向け、歳入の確保及び歳出の削減に取り組む予算編成としました。

今後も引き続き、急激な社会経済情勢の変化にも対応できる持続可能な行財政運営を図ってまいります。